

会議録

会議の名称	令和7年度 第1回加東市水道事業及び下水道事業運営審議会		
開催日時	令和7年8月4日(月) 午後2時から午後2時58分まで		
開催場所	加東市役所 2階 201会議室		
議長の氏名(会長 梅野 巨利)			
出席委員の氏名			
<出席委員>			
・梅野 巨利 ・柿本 靖史 ・三ツ井 英春 ・小林 邦子 ・柴垣 雅己			
・鷹尾 正彦 ・足立 明子 ・村野 ひろみ ・松本 久美子 ・三木 秀仁			
出席した事務局職員の氏名及びその職			
・副市長	小林 勝成	・技監	大原 成幸
・上下水道部長	小坂 征幸	・上下水道部管理課長	原田 幸広
・上下水道部工務課長	西角 昌記	・上下水道部管理課副課長	遠藤 佑希
・上下水道部工務副課長	岡 嘉也	・上下水道部管理課主査	藤井 小夜
・上下水道部管理課主事	西角 洋人		
傍聴者 なし			
1 報告事項			
(1) 「加東市水道事業経営戦略及び下水道事業経営戦略の投資・財政計画の進捗状況」			
2 会議資料			
(1) 次第、参加者名簿、配席図			
(2) 資料1 水道事業 投資・財政計画の進捗状況 (H30年度～R6年度)			
(3) 資料2 下水道事業 投資・財政計画の進捗状況 (H29年度～R6年度)			
(4) (参考資料) ～上下水道事業を取り巻く課題について～			
3 会議の経過			
⇒別紙「令和7年度第1回加東市水道事業及び下水道事業運営審議会・会議の経過」のとおり			
令和7年8月29日			
会長 梅野 巨利			
審議会委員 柿本 靖史			

(別紙) 令和7年度 第1回加東市水道事業及び下水道事業運営審議会・会議の経過

発 言 者	会議の経過 / 発言内容
	1 開会 事務局より定足数の確認を行い、本運営審議会が成立することを報告した。 2 副市長挨拶 副市長より開会の挨拶。 3 委員紹介 任期満了に伴う改選により、委員が交代しているため、委員の紹介を行った。 4 職員自己紹介 委員の交代があったため、改めて事務局職員が自己紹介を行った。 5 会長の選出・職務代理の指名 加東市水道事業及び下水道事業運営審議会条例に基づき、会長の選出と会長職務代理者の指名を行った。会長は梅野巨利氏、職務代理者は柿本靖史氏を選任。 6 会長挨拶 会長、会長職務代理者より選任の挨拶。 7 報告事項 (1)「加東市水道事業経営戦略の投資・財政計画の進捗状況」について事務局より参考資料、資料1の説明を行い、その後に質疑応答を行った。
委員	加東市の水道管の入替工事は、でダクタイル鋳鉄管を採用しているのか。
事務局	管の口径によって決まっており、20 cm以上のものはダクタイル鋳鉄管を採用している。15 cm以下のものについては、HPPE管（水道配水用ポリエチレン管）と呼ばれるものを採用し、耐震化に備えている。
議長	配水管のループ化とは何か。
事務局	配水管を一方通行にせず、環状に構築することである。ループ化することで配水管が漏水して修繕する際に、断水する範囲を狭くすることが可能となる。
委員	管を耐震化したことにより、地震の震度としてはどの程度まで耐えられるのか。
事務局	震度は6強から7程度となっている。阪神淡路大震災が来ても耐えられる程度となっている。
	(2)「加東市下水道事業経営戦略の投資・財政計画の進捗状況」について事務局より資料2の説明を行い、その後に質疑応答を行った。
委員	12箇所ある処理場を統合して、市内のせせらぎ東条と兵庫県に加古川上流浄化センターのみにしていくと説明があったが、問題なく汚水処理はできるのか。
事務局	問題ない。処理場の統合により、県に支払う負担金は増加するが、市内に既存の処理場を残して処理するよりも費用は抑えられる見込みである。

せせらぎ東条や加古川上流浄化センター等の処理場は過去に建設した際に人口が増加していくことを見込んでいること、近年人口は減少傾向であることから、処理可能な水量にも余裕がある。

- 8 その他
事務局より1点の連絡事項
(1) 次回の審議会について

- 9 閉会